

植生調査の内容

植生小委員会としては、屋敷林ボランティアの方々が、活動するうえで役立てることのできる参考資料、ボランティアさんができる植生記録の保存方法の提示、ボランティア管理のやりがいとしての復活目標植物の設定、さらに管理作業上の安全管理方法等について現地調査を中心に以下のような成果品および調査作業内容で進めることとします。

植生関係成果品

1 高橋家屋敷林外来植物図鑑

草本類等を中心に外来植物除去のための植物図鑑。

2 高橋家屋敷林雑草図鑑

屋敷林各ゾーンごとに本来存在しない雑草の図鑑。

3 高橋家屋敷林実生木図鑑

鳥類等が運び芽生えた樹木で、植物遷移を助長する等の実生木図鑑。

4 つる性植物図鑑

つる性植物について図鑑を作成する。

5 樹木調書(以前調査図面の樹木存在確認、幹周計測調査)

既毎木調査(2012/3 調査)資料をもとに、存在確認、消滅樹木、新規確認樹木、現状確認データとし太さを幹周り(既調査では、太さを胸高直径で計測している。これでは汎用的でないし、ボランティアでは簡単にできない)を全て計測し、基礎データとするための調査。

6 周辺屋敷林調査

周辺の良好に管理されている屋敷林の調査を行い、本来あるべき植物や復活できそうな植物を調査リストアップして、可能性を検討し、高橋家屋敷林の植生復活目標を提示する。

7 危険対策マニアル

落枝、スズメバチ、チャドクガ、マダニ、ヤブカ、シロアリの環境対策、駆除、安全対策のマニアル。